



探究ニュース Access No. 43

発行日 令和7年4月24日

目次

- I 探究成果発表会を終えて
- II カナダ渡航報告 トロント・リサーチ・プログラム(TRP)
- III 探究活動報告 森里海シンポジウム
- IV 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

I 探究成果発表会を終えて

3月15日(土)、探究成果発表会が行われました。今回は、成果発表会実行委員会が中心となって、初めて本校を訪れる方でも楽しみながら会場を巡ることができるよう、スタンプラリーや廊下でのPR動画の放送など、さまざまな企画が用意されました。

48期生は、個人テーマを設定し、ゼミごとの活動を通して関心のある問いに向き合ってきました。今回の発表は、二年間の探究活動の集大成です。それぞれが、これまでの学びを生かし、悔いのない発表ができたのではないのでしょうか。49期生は、探究Bの課題解決プロジェクトとしてグループごとに活動し、その成果を発表しました。この発表会で得た気づきを大切に、今年一年の探究活動にさらに取り組んでいきます。また当日は、多くの50期生が先輩たちの発表を見学に訪れてくれました。これから始まる本校での探究活動を、ぜひ楽しみながら進めていってください。



昨年度実行委員会委員長より

令和6年度探究成果発表会を終えて、個人的には少々の喪失感に浸るとともに、昨年度の2学年に上がったばかりの自分、入学したばかりの自分を回顧して再び気を引き締めんとしています。2年生として行う探究成果発表会は本当に楽しく、とても充実した活動になったと思います。特に昨年度の活動で印象的であったのは、先生方が生徒の希望や要望に全力で対応してくださったことです。時には奇抜で、無理難題と一蹴されかねない意見に関しても、真剣に対応いただき一体感を持って走りきることができました。私たち生徒の希望や取り組みに全力でご支援いただいた6年度探究部、実行委員会を統括頂いた長尾嘉崇先生をはじめ、探究部教員の皆様、及び本校の学校関係者の皆様には、感謝してもしきれません。一年間ご協力いただきましたことに感謝申し上げますとともに、今年度も、49期生を中心に、探究成果発表会実行委員会を宜しくお願い申し上げます。

野原聡一郎

Ⅱ カナダ渡航報告 トロント・リサーチ・プログラム (TRP)

3月20日～27日に、28名の生徒がカナダ・トロントへ研修に行きました。現地では、在トロント日本国総領事館で働く方から話を聞いたり、ロイヤルオンタリオ博物館でファースト・ネーションズの文化や生活について説明を受けたほか、3つの異なる高校を訪れ、現地の高校生と一緒に授業を受けるなど、充実した一週間を過ごしました。

現在は研修の事後学習として、5月10日と7月12日に行われる海外研修報告会の発表資料を作成しているところです。それぞれの探究テーマの結果報告、楽しみにしています！

参加した生徒の感想

- ◇ 入学前からTRPに参加したいと考えていて、そのために意気込みほぼ毎日英語学習に取り組むほど楽しみにしていました。事前学習でカナダの文化や多文化共生社会、自然について学んでから実際に渡航してみると、事前学習で学んだことは全く新しい発見や視点が生まれ渡航期間は短いものでしたが、深い学びを得ることができました。また、カナダでの一週間で学んだことは、もちろんカナダの多文化共生を維持するための配慮やマナー、多様な文化についても本当に多くのことを学ぶことができましたが、それだけでなく外国人とのコミュニケーション、日本語が使えない場所で自分で判断し行動する力など本当に様々なことを学ぶことができたと思います。カナダでのたくさんの学びを今後の生活に必ず生かしていきたいと思います。
- ◇ 最初こそすごく不安でいっぱいであろう事かと思っていたが、色んな人のサポートのおかげですごく楽しく充実した一週間にすることが出来た。本やネットで見ただけでなく、実際に自分の目で見聞きして学ぶことが出来たことを本当に嬉しく思う。TRPでしか出来ないたくさんの貴重な経験をさせていただいて本当に関わっていただいた皆さんに感謝してもしきれない。二学期から始まった事前学習でカナダについての知識を増やし、自分自身の探究テーマを決めたうえで実際にトロントに行くことが出来て、ただ観光で行くより何倍も有意義なものになった。後輩たちにも胸を張ってお勧めできる素晴らしい一週間だった。初の海外だったが添乗員さんやガイドさんがいてくれたおかげで、旅そのものに必要以上に心配したり慌てたりすることなく安全な旅にすることが出来た。総領事館公邸でのスピーチは本当に緊張した。けど貴重な機会をいただけて非常にうれしかった。
- ◇ TRPの初回で「カナダについて知っていること」を付箋で書き出したときは北半球、寒い、大きい、トロント、など知っていることがとても少なく、浅かったことを覚えています。しかし、TRPを重ねるごとに領事館の方の話、イン先生の話、自己紹介、スライドを通してカナダについての理解が深まり、自分がカナダの何に興味を持っているのかなどもおのずと固まっていきました。また、自己紹介ではほかのメンバーの視点を知ることができたり、話し方を工夫できたりしました。そして、実際に行ったカナダでは、カナダの文化を体験できたり人種の壁を感じないと体感できたりしたのでとても楽しく、興味が持てました。思っていたよりも英語が聞き取れて話せた驚きもありました。これらのことは実際に海外に行かなければ絶対にわからなかったことだと思います。再びカナダに行きたいと感じました。



海外研修を考えている人 へのアドバイス

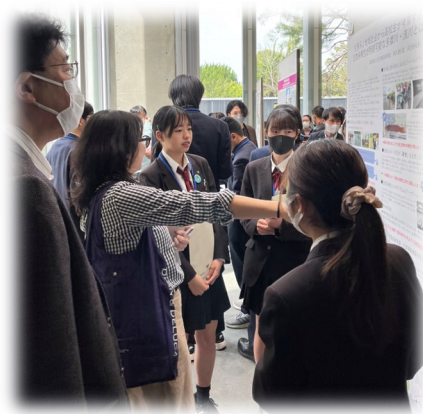
- ◇オールイングリッシュという感覚をなかなか味わえることはないと思う。学校交流は普通の旅行だけでは体験できないし、八王子東で行くからこそ実現していることだと思う。TRPに参加するべきだと強くおすすめする。
- ◇英語でミスをするのを恐れずに会話をしてみることが大事だと思います。みんな理解しようとしてくれます。そして、日本にいても経験できないこと、たくさん経験できました。ぜひこのプログラムに参加してほしいと思います。
- ◇事前学習で興味のあることを見つけることでまた違った観点でカナダを楽しむことができるので課題設定は大切。英語が喋れなくても自分が伝えようとする事で相手は必ず聞こうとしてくれるから、適当に反応せずに自分の意思をしっかり伝えようとする事でより会話を楽しむことができる。

みんなで
けん玉!

歴史の授業では
昔使われていた
スラッグを調査

Ⅲ 探究活動報告 森里海シンポジウム

3月24・25日、京都大学にて「第9回森里海シンポジウム 里山里海の今を知る」が行われ、3名の生徒が発表を行いました。内容は、探究ニュースでもたびたび紹介しているガサガサの調査報告です。シンポジウムでは、大学の先生や専門家との質疑応答を通じて、自分たちの研究内容に対する理解が深まるだけでなく、ほかの県の里山・里海の現状について新たな視点を得ることができました。



- * 浅川のカサガサを通して、浅川の生態系を知ることができその上、京都大学で発表できる機会をいただきとても良い経験になりました。京大では他県からきた方々と地元の自然について話し合いましたが、住む地域によって全く環境が違うことに驚きました。他校の高校の発表も地域性にあふれていてとても楽しく聞くことができました!
- * ガサガサでの浅川環境や、京都大学でのシンポジウムや発表で、川の状態を実際目で見たり遠く離れた地域の人と意見交換をしたり、外部の人からの発表内容に対する質問、アドバイスを受けるなどの貴重な体験をすることができ、とても良い経験になりました。
- * 浅川でのガサガサでは、現在の浅川の生態系を知ることが出来ました。思っていたよりも多くの生物が見つかったことが驚きでした。また、京都大学のシンポジウムでは様々な地域の人と討論できて楽しかったです。地域によって相違点だけではなく共通点もあり興味深かったです。発表後は鋭い質問やアドバイスを頂けて、とても良い経験となりました。この貴重な経験を将来に活かしていきたいです。

Ⅳ 在校生の皆さんへ 特別講座・ボランティアのお知らせ

東京大学 金曜特別講座

【希望者 オンライン】

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部による「高校生と大学生のための金曜特別講座」が今年もオンラインで開講されています。興味のある分野の講座には、ぜひ参加してみましょう。

Teamsの「東大金曜講座」のチームから配信リンクが届くので、積極的に参加しましょう。



- | | |
|--------------------------------|--|
| 4/18 (金)
17:30-19:00 | 宇宙空間でおこる化学反応：星間分子の世界
羽馬 哲也 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授 |
| 4/25 (金)
17:30-19:00 | 植物が光に反応して「動く」メカニズム
末次 寛之 東京大学 教養学部 統合自然科学科・准教授 |
| 5/2 (金)
17:30-19:00 | マレーシア華人の文学活動
及川 茜 東京大学 教養学部 教養学科・講師 |
| 5/9 (金)
17:30-19:00 | 活動を記録する、記録を活用する：アーカイブズを使いこなそう
森本 祥子 東京大学 文書館・准教授 |
| 5/16 (金)
17:30-19:00 | 集合が現代数学の基礎なのはどうか
斎藤 毅 東京大学 理学部 数学科・教授 |
| 5/23 (金)
17:30-19:00 | 言語に「不可能な」ことが面白い!?
——生成文法理論と言語類型論
小田 博宗 東京大学 教養学部 教養学科・講師 |
| 5/30 (金)
17:30-19:00 | 炭素資源を活かす新しい触媒～持続可能な未来のために
野崎 京子 東京大学 工学部 化学生命工学科・教授 |
| 6/6 (金)
17:30-19:00 | 史料をどう「読む」か？ ヨーロッパ中世の人々の痕跡を見つけ出す
菊地 重仁 東京大学 文学部 人文学科 西洋史学専修課程・准教授 |
| 6/13 (金)
17:30-19:00 | 量子で紐解く光と物質の不思議な関係
黒山 和幸 東京大学 生産技術研究所・准教授 |
| 6/20 (金)
17:30-19:00 | 老化を科学する
東京大学生命科学シンポジウムとのコラボ企画
中西 真 東京大学 医科学研究所・教授 |
| 7/4 (金)
17:30-19:00 | 自分の外に出る読書——アメリカ合衆国の短編小説を読む
井上 博之 東京大学 教養学部 教養学科・准教授 |
| 7/11 (金)
17:30-19:00 | 生物地理学：生物の分布を科学的に考える
池田 啓 東京大学 教養学部 学際科学科・准教授 |
| 7/18 (金)
17:30-19:00 | 協同が上手く働くとき——問題解決における他者の役割
清河 幸子 東京大学 教育学部 総合教育科学科・准教授 |

高倉小学校 放課後子ども教室 高校生メンバー募集

本校のお隣、八王子市立高倉小学校の「放課後子ども教室」では、小学生と一緒に遊んだり、勉強を教えてあげたりする高校生メンバーを募集しています。昨年度は本校のこの取り組みが東京都に表彰されました。

将来、教育系に進みたい人にとっては、机上では得られない学びを知るとてもよい機会です。詳しくはTeams HSCでお知らせしますので、興味がある人は探究部まで申し出てください。

うみぼす甲子園2025 募集開始

海の課題に興味がある人、ポスターコンテストに参加しませんか？

「うみぼす甲子園」は、海の課題に取り組む高校生たちが発送し、学び、活動し、発信するコンテストです。テーマは海に関する課題なら何でもOKです。エントリーの段階では、まだポスターが完成している必要はありません。

興味がある人は、探究部まで申し出てください。



今後も様々な講座を企画・お知らせしていきます。ぜひ積極的に参加して、視野を広げましょう！